ひふみのあゆみ

ひふみ投信 追加型投信/内外/株式

2020年10月度 月次ご報告書

レオス・キャピタルワークスよりお客様へ 資産形成のパートナーに「ひふみ投信」をお選びいただき、ありがとうございます。 運用状況ならびに運用責任者からお客様へのメッセージなどをご報告します。





作成基準日:2020年10月30日

運用実績





運用成績						
	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ひふみ投信	-1.68%	9.80%	20.61%	15.01%	14.95%	448.91%
TOPIX	-2.84%	6.47%	8.95%	-2.95%	-4.00%	87.88%

ひふみ投信の運用状況		
基準価額	54,891円	
純資産総額	1,293.80億円	
受益権総口数	23,570,298,866口	
ひふみ投信 投資信託財産の構成		
ひふみ投信マザーフ	ァンド 99.82%	
現金等	0.18%	
合計	100.00%	

分配の推移	(1万口当たり、	税引前)
第12期	2020年9月	0円
第11期	2019年9月	0円
第10期	2018年10月	0円
第9期	2017年10月	0円
第8期	2016年9月	0円
第7期	2015年9月	0円
設況	0円	

- ※当レポートで言う基準価額とは「ひふみ 投信」の一万口あたりの値段のことです。 また信託報酬控除後の値です。
- ※ひふみ投信の当初設定日の前営業日 (2008年9月30日)を10,000円として指 数化し、基準価額とTOPIXのグラフや設 定来の運用成績の表を作成しています。
- ※TOPIXは、全てTOPIX(配当込み)を用いています。TOPIX(配当込み)は当ファンドのペンチマーク(運用する際に目標とする基準)ではありませんが、参東として記載しています。TOPIXとは東証株価指数のことで、東京証券取引所第一部に上場されているすべての銘柄の時価総額(株数×1株当り時価)の合計を指数化して算出され、日本の株式市場全体の動きをあらわすともいえます。TOPIX(配当込み)とは、配当収益を考慮して東京証券取引所が算出・公表している指数です。
- ※当レポートにおいて特段の注記がない場合は、基準日時点における組入銘柄比率や運用実績を表しています。また運用成績など表記の値については小数点第三位を四捨五入して表示しています。そのため組入比率などでは合計が100%にならない場合があります。
- ※「純資産総額」は100万円未満を切捨て で表示しています。
- ※「受益権総口数」とは、お客様に保有していただいている口数合計です。
- ※ひふみ投信は分配金再投資専用の投資信託です。
- ※ひふみ投信は、ひふみ投信マザーファンド(親投資信託)を通じて実質的に株式へ投資しています。
- ※「現金等」には未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

資産配分比率などの状況

ひふみ投信マザーファンドの状況		
純資産総額	6,182.79億円	
組み入れ銘柄数	257銘柄	

市場別比率	
東証一部	74.52%
東証二部	2.00%
マザーズ	6.13%
JASDAQ	1.77%
その他海外株	11.47%
現金等	4.11%
合計	100.00%

資産配分比率	
国内株式	84.42%
海外株式	10.49%
海外投資証券	0.98%
現金等	4.11%
合計	100.00%

- ※「資産配分比率」「市場別比率」「業種別比率」はマザーファンドの純資産総額に対する比率を表示しております。
- ※「国内株式」は新株予約権を含みます。 「海外投資証券」はREIT (不動産投資 信託)等です。
- ※「現金等」には未収・未払項目などが 含まれるため、マイナスとなる場合が あります。



※業種別比率について:東証33業種分類 を用いて表示しています。非保有の業 種は表示されません。

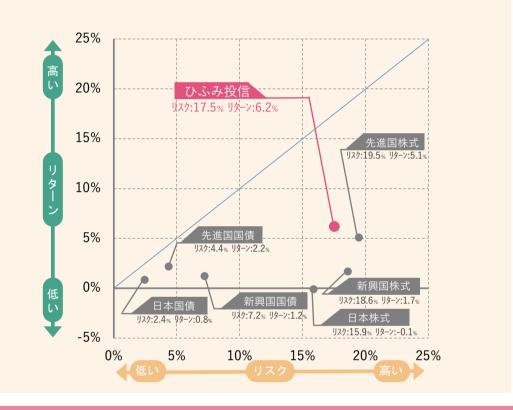
また海外株式、海外投資証券については「その他海外株」として表示しています。



ひふみ投信と市場の比較

各年の収益率 80% 68.0% ■ひふみ投信 54.4% 44.8% ■ TOPIX 40% 22.8% 18.1% 22.2% 20.9% 21.7% 22.2% 14.0% 10.2% 1.9% 7.6% 1.0% -1.3% 9.6% 12.1% 8.6% 10.3% 0% -6.2% -21.4% -16.0% -17.0% -20.9% -40% '08年 '09年 '10年 '11年 '12年 '13年 '14年 '15年 '16年 '17年 '18年 '19年 '20年

ひふみ投信と主要資産のリスクリターン(過去3年間)



ひふみの主な受賞暦







受賞年	受賞詳細
2020年	R&I ファンド大賞 2020 投資信託10年/国内株式部門 最優秀ファンド賞
2019年	R&I ファンド大賞 2019 投資信託10年/国内株式部門 最優秀ファンド賞
2018年	R&I ファンド大賞 2018 NISA/国内株式部門 優秀ファンド賞
2018年	投信ブロガーが選ぶ!Fund of the Year 2017 第6位
2016年	グッドデザイン賞

※各年の収益率について:暦年ベース、2008年は9月末から年末まで、 当年は作成基準日(レポート1 ページ目右上をご覧下さい)まで。

※ひふみ投信と主要資産のリスクリターンについて:作成基準日(レポート1ページ目右上をご覧下さい)を起点として過去36ヵ月間のひふみ投信および主要資産の月次リターンを元に年率換算したリスクとリターンを算出しグラフを作成。

※各年の収益率とひふみ投信と主 要資産のリスクリターンの各値は、 小数点第二位を四捨五入して表示 しています。

解説:リスクリターンとは?

国や地域、業種や特性の違う様々な 資産に投資をする際に、最も重要視 される尺度がリスクとリターンではリターン値(ここではリターン値(ここで分母に、リスクを分子に、リスクを分ければ高ければ高いほど、スマート(効率的)に運用れまではよっことができたと理解されまに、リスクはより低く、リターンが投り高かった」、よりスマートな資ができたということになります。

解説:リスクとは?

投資や統計の世界において、リスク は「どのくらい危険か(どのくらい 下落するか)」ではなく、「どのく らい不確実か、ブレるか(値動きが 上下するか)」を表す尺度です。詳 しい方には値動きの標準偏差という と伝わるでしょう。どんなに素晴ら しい会社の株式でも、未来は不確実 である以上、景気や投資家の思惑な ど様々な要因で株価は上下を繰り返 します。そして同じ期間で同じだけ 投資成果の出た2つの企業の株価で も、期間中の値動きは異なります。 これが大きいか小さいかを数字で示 すのがリスクです。言い換えれば 様々な金融商品の、過去一定期間の 値動きの大きさ小ささを計測した値 であり、未来の投資収益における不 確実性(価格変動の大きさ)の目安 になる参考指標がリスクと言えます。

※過去の実績は将来の収益を保証するものではありません。

時価総額別比率	
大型株(3,000億円以上)	37.85%
中小型株(300億円以上、3,000億円未満)	50.60%
超小型株(300億円未満)	7.43%
現金等	4.11%
合計	100.00%

アクティブシェア

86.86%

'20/10

アクティブシェアは0%~100%の 間の数値で100%に近いほど、ベン チマークと異なるポートフォリオで あることを示します。TOPIX(配当 込み) はひふみ投信マザーファンド のベンチマークではございませんが、 値動きの大きさの推移(250営業日リスク推移) 参考として算出しています。 ※値動きの大きさの推移について: 50% 設定来の日次リターンを基に過去 **TOPIX** 250営業日のリスク(日次リターン ひふみ投信 40% の標準偏差の年率換算値)の推移を

'18/10

解説:リスクの推移の意味

表示したもの。

※アクティブシェアについて:基準

日時点のTOPIXと比較

解説:アクティブシェアとは ポートフォリオがベンチマークとど れだけ異なっているかを示します。

ひふみ投信とTOPIXのリスク量を比 較して分かる事は、簡単に言えば 「どのくらいアクセルを踏んでいる か」ということです。アクティブ運 用の投資信託は市場環境等に応じて 中身(ポートフォリオ)を変化させ ます。より値動きが大きくなっても 上昇機会を得られるとして中身を変 化させると、リスクの値は高くなる でしょう。ひふみ投信は概ねTOPIX よりも低いリスクを維持しており、 安定的な値動きの運用を目指してい ることが分かります。

※株式市場への値動きの連動性につ いて:設定来の日次リターンを基に 過去250営業日の対TOPIXとひふみ 投信のベータ値の推移を表したもの。

解説:ベータの推移の意味

上記のグラフにおけるベータは、 TOPIXに対してひふみ投信がどのく らい連動するかを表します。仮に 0.8のとき、TOPIXが1上がると、ひ ふみ投信は0.8程度の上昇が見込ま れます。逆にTOPIXが1下がると、 ひふみ投信は0.8 程度の下落に留ま ると見込まれます。



'16/10

'14/10

※ひふみのあゆみで使用している指数

TOPIXまたは日本株式=TOPIX (配当込み)

先進国株式=S&P Developed Ex-Japan BMI (JPY) (ヘッジな

新興国株式 = S&P Emerging BMI (ヘッジなし・円ベース)

日本国債=FTSE日本国債インデックス

先進国債=FTSE世界国債インデックス(除く日本、国内投信用、 ヘッジなし・円ベース)

新興国債=FTSE新興国市場国債インデックス(ヘッジなし・円

※新興国株式、新興国債については、レオス・キャピタルワー クスが米ドルベースの指数を円換算しています。

※各指数はレオス・キャピタルワークスが、当資料作成時点で 取得した数値を採用しています。

※指数の権利表記

30%

20%

10%

0%

'10/10

'12/10

FTSE 日本国債インデックス、FTSE世界国債インデックス、 FTSE新興国市場国債インデックスは、FTSE Fixed Income Index LLC により開発、算出および公表されている債券イン デックスです。FTSE Fixed Income Index LLCまたはその関連 会社は、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、 販売あるいは販売促進を行なっておりません。このインデック スのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income Index LLCは、当該データの正確性および完全性を保証 せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負

※R&Iファンド大賞について

「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去の データに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につ きR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としてお り、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォー マンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第 28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用 格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請さ れています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切 の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。 R&Iファンド大賞2020の「投資信託10年部門」では、2015、 2020年それぞれの3月末における5年間の運用実績データを用い た定量評価および2020年3月末時点における3年間の運用実績 データを用いた定量評価がいずれも上位75%に入っているファ ンドに関して、2020年3月末における10年間の定量評価による ランキングに基づいて表彰しています。定量評価は、「投資信 託10年部門」ではシャープ・レシオを採用しています。表彰対 象は償還予定日まで1年以上の期間を有し、「投資信託10年部 門 | では残高が30億円以上かつカテゴリー内で上位50%以上の

本的にR&Iによる分類をベースとしています。

> ※投信ブロガーが選ぶ!Fund of the Year 2017について 投信ブロガーが選ぶ!Fund of the Year 2017は、投信ブロガー の投票を運営委員会が集計したランキングです。2017年10月31 目までに設定された投資信託 (ETF含む) で、海外籍ETFにつ いては、日本の証券会社を通じて買付可能なものを対象として

※2016年度グッドデザイン賞について

グッドデザイン賞では有形無形を問わず、様々な物事を応募対 象として受付し、2016年4月6日から2016年6月1日までにウェ ブサイトを通じて応募する対象が審査対象となります。すべて の審査対象の中から、グッドデザイン賞は、くらしや産業や社 会の質を向上させる優れたデザインと認められるものに贈られ 「Gマーク」は、グッドデザイン賞事業の主催者である 公益財団法人日本デザイン振興会が管理する知的財産権です。

銘柄紹介(基準日時点の組入比率1~10位)

	銘柄名	銘柄コード	規模	上場市場	業種	組入比率
	企業ロゴ等			銘柄紹介		
	ショーボンドホールディングス	1414	中小型	東証一部	建設業	1.84%
1		橋梁やトンネル	vといった道路構	構造物をはじ <i>め</i>	とするインフラの	補修・補強を
		行なう。日本全	国で進行してい	る公共インフ	ラ老朽化の対策を抗	旦う。
	Ζホールディングス	4689	大型	東証一部	情報・通信業	1.47%
2					トサービス企業。 :続ける同社のさら	
	ソニー	6758	大型	東証一部	電気機器	1.40%
3		VR(仮想現実)や	AR(拡張現実)を:	実現する機器・	サービスの登場が近	丘年続く。ゲー
J		ム機プレイステ	ーション 4 に接終	売するVR機器の	普及に注目が集まる	る。他社製品よ
		りも安価な価格	設定もあり好調な	な売上が期待さ	れる。	
	プレミアムウォーターホールディングス	2588	中小型	東証二部	食料品	1.34%
4					-の販売・宅配事業	
	a	勤務の広まりたる。	などを背景にウ	ォーターサー	バー市場の普及拡	大が期待され
	アマノ	6436	中小型	東証一部	機械	1.33%
5		改善に向けた製		き方改革が進む	⋮浄機をはじめ、企 ♪中、当社製品の引	
	東京センチュリー	8439	大型	東証一部	その他金融業	1.32%
6	東京センチュリー株式会社				±。競合他社の参入 :積極的に取り組む	
	SHIFT	3697	中小型	東証一部	情報・通信業	1.28%
7		ソフトウエアテス	ト業務を受託する	。ソフト開発段	ウエアに不具合がない 階や開発後の運用段階 る企業からの受注を増や	におけるサポー
	ジャフコ グループ	8595	中小型	東証一部	証券、商品先物取引業	1.26%
8		日本の老舗ベン	/チャーキャピタ	マル。インター	-ネットの発展など	もあり起業の
_			で、国内タ にも注力してい		と資を活発化。ベン	チャーキャピ
	イビデン	4062	大型	東証一部	電気機器	1.19%
9			-		レート基板を手掛け、 造改革による固定費(
					微細化が進む中で恩恵 	
	アンリツ	6754	大型	東証一部	電気機器	1.18%
10		–	反売を行なう。 た		使用される電子機 電話計測器では世界	

※規模は作成基準日時点の時価総額と以下の区分に基づき作成しています。 大型(3,000億円以上)、中小型(300億円以上、3,000億円未満)、超小型(300億円未満) ※「組入比率」はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

銘柄紹介(2020年7月31日時点)

	銘柄名	銘柄コード	規模	上場市場	業種	組入比率
1	東京センチュリー	8439	大型	東証一部	その他金融業	2.10%
2	ショーボンドホールディングス	1414	中小型	東証一部	建設業	1.93%
3	OLLIE'S BARGAIN OUTLET HOLDINGS	OLLI	大型	NASDAQ	その他海外株	1.48%
4	協和エクシオ	1951	中小型	東証一部	建設業	1.47%
5	NETFLIX INC	NFLX	大型	NASDAQ	その他海外株	1.35%
6	ダイフク	6383	大型	東証一部	機械	1.33%
7	MICROSOFT CORPORATION	MSFT	大型	NASDAQ	その他海外株	1.33%
8	SHIFT	3697	中小型	東証一部	情報・通信業	1.30%
9	アンリツ	6754	大型	東証一部	電気機器	1.25%
10	ミライト・ホールディングス	1417	中小型	東証一部	建設業	1.22%
11	ジャフコ	8595	中小型	東証一部	証券、商品先物取引業	1.21%
12	キーエンス	6861	大型	東証一部	電気機器	1.20%
13	九電工	1959	中小型	東証一部	建設業	1.15%
14	村田製作所	6981	大型	東証一部	電気機器	1.13%
15	イビデン	4062	大型	東証一部	電気機器	1.12%
16	アマノ	6436	中小型	東証一部	機械	1.08%
17	富士通	6702	大型	東証一部	電気機器	1.08%
18	AMERICAN TOWER CORP (海外投資証券)	AMT	大型	NYSE	その他海外株	1.07%
19	光通信	9435	大型	東証一部	情報・通信業	1.04%
20	セリア	2782	大型	JASDAQ	小売業	1.03%
21	日本瓦斯	8174	中小型	東証一部	小売業	1.00%
22	東京応化工業	4186	中小型	東証一部	化学	0.98%
23	マネーフォワード	3994	中小型	マザーズ	情報・通信業	0.97%
24	BILIBILI INC ADR	BILI	大型	NASDAQ	その他海外株	0.94%
25	DOMINO'S PIZZA, INC.	DPZ	大型	NYSE	その他海外株	0.94%
26	ZOOM VIDEO COMMUNICATIONS	ZM	大型	NASDAQ	その他海外株	0.94%
27	丸和運輸機関	9090	中小型	東証一部	陸運業	0.93%
28	テルモ	4543	大型	東証一部	精密機器	0.92%
29	ファナック	6954	大型	東証一部	電気機器	0.92%
30	SMC	6273	大型	東証一部	機械	0.91%

[※]規模は以下の区分に基づき作成しています。 大型(3,000億円以上)、中小型(300億円以上、3,000億円未満)、超小型(300億円未満) ※「組入比率」はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

投資環境(株式市場等での出来事)について

10月の株式市場は、米国の追加景気刺激策や大統領選の行方を睨んだ方向感に欠ける展開が続き、日経平均株価は前月同様に動意薄商状に終始、月末の日経平均株価は前月比0.9%安の22,977.13円と小幅安で終えました。

10月1日の日本株式市場は東証のシステムエラーによって終日売買が停止、翌日はトランプ大統領の新型コロナウイルス感染を受けてやや軟調な動きとなりましたが、早々に退院できる見込みとの報道や米国の追加景気刺激策の合意期待を背景に、5日以降は底堅い展開となりました。ただし、追加景気刺激策に関しては民主党が2.2兆ドル規模を求めているのに対して共和党は1.6兆ドル規模を提示と隔たりが大きく、協議は難航し、株式市場も徐々に失速していきました。また米国の大統領選に関しては、増税策等マーケットにはネガティブとの見方が強かったバイデン候補が優勢との見方が強まりましたが、大統領、上院、下院を全て民主党が取る"トリプルブルー"となれば大規模な財政政策が実現するとのポジティブな見方も浮上したことで、マーケットのネガティブ反応は限定的となり、マーケットを動かすドライバーとはなりませんでした。

月前半は追加景気刺激策の早期合意期待が高まっていたこともあり、 米国株は堅調な動きを見せましたが、一向に協議が進展しないことを 受けて、中盤以降は冴えない動きとなりました。また、これまで非常 に強い上昇を演じていた東証マザーズ指数は月前半こそ年初来高値を 更新、14日には14年ぶりの高値水準を付けましたが、その後は米国株 同様に売り優勢となって月前半分の上昇を帳消しと、大統領選という ビッグイベントを控えてか、これまでの好パフォーマンス銘柄を手仕 舞う動きが目立ちました。一方、日経平均株価に関しては前月に引き 続き狭いレンジ内での小動きの展開が続き、前月末と同水準で月末を 迎えました。9月以降の日経平均株価の値幅は僅か1,000円弱という膠 着ぶりとなったほか、東証一部の売買代金は10月12日から27日まで12 営業日連続で2兆円の大台割れとなり、これは2019年8月の夏枯れ相場 時以来の連続大台割れ記録と、マーケット参加者の様子見ムードの高 まりが顕著でした。

なお、株式市場の物色動向では、大統領選が近づくに連れてバリュー買い/グロース・モメンタム売りの動きが強まりました。また、株式市場以外では米国金利の上昇がやや目立ちました。これは大規模な財政政策が実現した場合、金利上昇による利ざや改善が期待される金融株や、インフラ需要期待が高まる公益株らが物色された一方、増税による業績悪化が懸念される大手ハイテク株などが売られた結果であり、バイデン候補の勝利を織り込みに行った動きと思われます。



トレーディング部長 岡田 雄大

※組入比率など運用についての記述は、すべてひふみ投信マザーファンドに関するご説明です。

※当資料では「ひふみ投信マザーファンド」のことを「ひふみ」と略する場合があります。

運用責任者よりお客様へ

米国の大統領選挙が混迷を極めています。11月5日現在、バイデン氏 とトランプ氏がほぼ拮抗し、数州の開票状況に委ねられています。現 状ではバイデン氏が有利な状況ですが、トランプ氏が簡単に引き下が るとは思えず、大統領選の行方は混沌としています。一方で上院は共 和党が取りそうで、もしバイデン氏が当選したとしても、多くの決議 が上院で阻まれることが予想されています。逆に株式市場ではそのこ とが好感されており、米国政府の安定化(トランプ氏ほど予測不可能 ではない)状況に、バイデン氏が計画している増税策も通りにくく、 当面株式市場が好まないような経済政策が打たれることが少ないと予 想されています。そのおかげで、株式市場は米国も日本も上昇傾向に なっています。今後も大統領選挙の行方は注視をするにしても、よほ どの混乱が続かない限り、米国の株式市場の上昇傾向は続く可能性が あります。

一方で、新型コロナウイルスが欧米を中心に拡大する流れは変わら ず、そのことは引き続き懸念材料です。日本も、欧米ほどではありま せんが、じわりと感染者数が増えており、警戒をゆるめずに先行きを みていこうと考えています。

菅政権は、目玉のデジタル庁やハンコ廃止をかかげた行政改革など はしっかりと進んでおり、学術会議に関して揉めたりはしているもの の、巡航速度であると考えられます。

10月は東証株価指数(TOPIX、配当込み)が-2.84%とふるいません でしたが、ひふみ投信は-1.68%と下げていながらも市場平均よりは下 げ幅を抑えられて、引き続き好調が続いております。今後とも全力を 尽くして運用しますので、ひふみ投信をよろしくお願いいたします。



代表取締役 会長兼社長 最高投資責任者 藤野 英人

- ※組入比率など運用についての記述 は、すべてひふみ投信マザーファ ンドに関するご説明です。
- ※当資料では「ひふみ投信マザー ファンド」のことを「ひふみ」と 略する場合があります。

ひふみアニュアルミーティング2020

ひふみ投信・ひふみプラスの決算を迎えるごとに、 その1年間をどのように考え、どのように運用してい たかをお伝えする「ひふみの運用報告会」は、昨年 から「ひふみアニュアルミーティング」と名前を変 えて、お客様と私たちが双方にコミュニケーション し、ひふみへの信頼を深めていただきたいという想 いからリニューアルいたしました。

「ひふみアニュアルミーティング2020」は、新型コ ロナウイルス感染拡大防止のためにオンライン形式 に変更し、ミーティングに込めた想いはそのままに、 さまざまなセッションを実施いたします。是非ご視 聴ください。

2020年12月13日(日) 10:00~18:00 (YouTube Live)



▲詳細はこちら

【視聴方法】「ひふみ投信」「ひふみワールド」の口座をお持ちの方 には、動画 視聴用URLをメールでお知らせいたします。

運用本部 経済調査室長 三宅一弘



米選挙・一大イベント終了、リスク選好へ

コロナ抑制と経済立て直し、米追加経済対策期待

今年の最大イベントであった米大統領・連邦議会選挙(11月3日)が終わりました。選挙前は民主党のバイデン候補の優勢が伝えられ、上下両院も民主党が過半数を支配する「民主党統一政権(ブルーウェーブ)」の誕生が見込まれていました。しかし、異例の激戦となり、大統領選挙は僅差でバイデン氏が勝利に近づき、上院は共和党が、下院は民主党が過半数を獲得する情勢です。今選挙はコロナ禍で郵便投票が激増し、投票率が約67%と過去100年間で最高水準となり、いくつかの州で選挙結果の確定が遅延しました。市場参加者の一部は、選挙後の混乱を懸念して事前に株式などリスク資産のウェイトを落とす動きをとったようです。実際、9~10月の米国株式市場などでは急落を交える波乱相場になりました。選挙結果が固まってくれば、安心感やリスク選好的な動きが広がるでしょう。

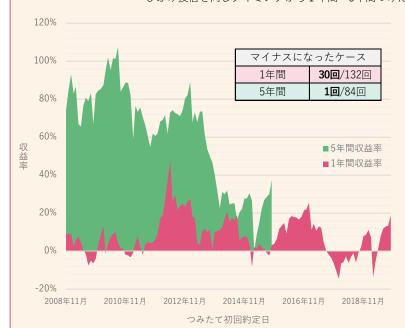
米次期政権の最優先課題は、コロナ禍において感染拡大抑制と経済の立て直しにあります。両候補のどちらが大統領になっても選挙前に合意できなかった追加経済対策をまとめ、経済再生を図ることでしょう。バイデン候補が大統領になる場合には民主党が主張してきた大規模対策に近づくと推察されます。株式市場にとっては好材料になるとみられます。一方、中長期的な経済政策面ではトランプ、バイデンの両候補とも雇用創出を最重視してきましたが、トランプ大統領は減税・規制緩和によって、バイデン候補は政府支出・投資拡大や保育・介護支援によって目指す方針でした。総じてトランプ氏はビジネスフレンドリーで成長重視、環境規制の緩和や化石燃料の開発推進、金融規制の緩和を目指すスタンスでしたが、バイデン氏は大きな政府の原資として法人税増税や富裕層への増税を掲げ、反企業・格差是正の色彩が強く、環境規制強化や化石燃料使用制限、クリーンエネルギー支援、パリ協定復帰、金融規制の強化を主張するなど、両候補は対照的でした。バイデン政権誕生の場合、コロナ禍と上院の共和党支配で、追加経済対策などは推進できても、増税など民主党的な政策に対しては歯止めがかかりそうです(株式市場ではこのような構図を好感)。一方、コロナ禍が収まってくると(時間軸では2021年後半以降を想定)、左寄りの民主党的政策が強まる可能性があり、やや長い目で注目ポイントと言えそうです。

トランプ政権下で対立が激化した米中関係は、バイデン政権になっても継続しそうですし、特に人権問題などで対中圧力を強めるとみられます。南シナ海、台湾問題など安全保障面で新政権が中国に対してどのような政策をとるのか、日本をはじめ東・東南アジア諸国にとって焦点の1つになります。コロナ禍をほぼ制圧した中国に対し、翻弄される米国との姿が鮮明化する中で、米中の世界経済に占めるGDPシェアは、当初言われていたよりも早く、前倒しで2020年代後半に中国が米国を上回る可能性が高まっています。おそらく米中のハイテクや安全保障分野での覇権争いは激化方向と推察されます。

新型コロナウイルスの世界の新規感染者数は再拡大の様相です。北半球では冬季入りし、さらなる感染拡大が懸念されています。特に感染者が急増する欧州では感染抑制のため、部分的なロックダウン(都市封鎖)の導入が増えていますが、経済活動の失速が懸念され、欧州株は頭の重い展開になりそうです。米国も新型コロナウイルスの感染が再拡大の様相ですが、ユーロ圏に比べて機動的な財政出動(追加経済対策)と、デジタル・リモート経済(関連企業群)の進展もあって、米国株は堅調基調になりそうです。新型コロナウイルスの制圧をいち早く達成した中国は、相対的に経済回復が顕著になっています。米次期政権の対中政策がみえてくるまで悪材料が減少し、堅調地合いになりそうです。日本に関しては企業収益の回復期待や経済を回す政府方針などから相対的に安定感があるでしょう。総じて主要市場は米選挙の一大イベントが終了し、リスク回避から選好的な動きが強まる方向と予想されます。

長期投資の方がパフォーマンス上も有利になる可能性が高い!!

ひふみ投信を同じタイミングから1年間・5年間つみたて購入した場合のパフォーマンス比較



左のグラフは、ひふみ投信を1年間あるいは5年間つみたて購入した場合のパフォーマンス (収益率)を比較したものです。

つみたて開始時期によってパフォーマンスは 異なりますが、**1年間**つみたて購入した場合に 収益率がマイナスになったのは**30回**/132回で あったのに対し、**5年間**つみたて購入した場合 は**1回**/84回という結果になりました。

これらはひふみ投信の過去の実績であり、今後の実績をお約束するものではありませんが、ひふみ投信をつみたて購入する場合、つみたて期間が長期になればなるほど、つみたて投資の効果を実感しやすくなる可能性があります。

つみたて投資はぜひコツコツと、**長期で続ける**ことをご検討ください!

- ※期間:2008年11月12日~2020年10月12日 当社作成
- ※各月5日(休日の場合は翌営業日)を引き落とし日とし、5営業日後を約定日(休日の場合は翌営業日)として月1回つみたてした場合の、それぞれの収益率を試算しています。
- ※上記は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。
- ※当資料は当社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、当社が保証する ものではありません。
- ※当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

運用部からのメッセージ

毎月、トピックを用意して運用部のファンドマネージャー・アナリストのコメントを集めています。 多様な考えや価値観をお届けすることを通じて、新しい視点を持っていただくきっかけになれば幸いです。

今月のトピック

在宅ワークが長く続いていますが、健康を意識してやっていることはありますか?



Fujino Hideto 藤野 英人 代表取締役会長兼社長 最高投資責任者

去年は外食を年間700回もしていましたが、今年はその10分の1以下に減り、それにともなって体重も減り、人間ドックの結果も劇的に良くなりました。やはり健康はまずは食からですね。あとはトレッドミルを買ってなるべくそこで歩いたり走ったりしています。犬の散歩もよい習慣になっています。



Yuasa Mitsuhiro 湯浅 光裕 代表取締役副社長 運用本部長

実は腕立てを継続していたのですが、腕や肘の向きが悪かったせいかテニス肘(!)になりました。なので腕立てをやめています。 一方で、歩くことは継続していて、春から夏、秋にかけての季節 の移り変わりを感じつつ楽しくやっています。



Watanabe Shota 渡邉 庄太 運用部長 シニア・アナリスト ファンドマネージャー

自宅だとどうしても生産性が低下してしまい、仕事に掛ける時間が増大してしまいました。結果的に運動などの余暇がしわ寄せを受けている現状です。安心して出勤できる状況が一日も早く戻ってくることを願っています。



Yatsuo Hisashi 八尾 尚志 シニア・アナリスト

在宅ワーク期間中は日々のウォーキング5-10キロ、週末に5-10キロのランニングというペースで身体を動かしています。感染拡大以降はずっと在宅ワークをしていたのですが、最近は週1-2の在宅ワーク、後は出社して業務と社内コミュニケーションを行なうなどして仕事もバランスをとるように心がけています。コロナ以前と以降で大きく変わったのはRadikoで受験生だった頃のように深夜ラジオをタイムフリー機能を使って聴くようになったことですね。



Sasaki Yasuto 佐々木 靖人 シニア・アナリスト

コロナ禍で始めたことは特にないです。



Wei Shanshan 韋 珊珊 シニア・アナリスト

高さ調節可能のデスクを購入しましたので、3分の1の時間は立って仕事しています。最近はメディテーション(瞑想)を一日5分くらいやるようになりました。心の整理に効果的です。

運用部からのメッセージ



Takahashi Ryo 高橋 亮 シニア・アナリスト

散歩です。走るのは大嫌いなので散歩はして最低限の運動はするようにしています。夏は暑すぎてそれもできなくなって困りましたが、涼しくなってきたので1日4-5キロは歩くようにしています。



Ono Shotaro 小野 頌太郎 シニア・アナリスト

青汁を毎日飲むようになりました。昔より飲みやすくなっててビックリです。コロナ禍で健康をより意識するようになった気がします。



Katata Yuta 堅田 雄太 シニア・アナリスト

数年前に買った筋トレ器具が部屋にあるのですが、毎日素通りしています。使ってはいません。やらないといけないとは思っています。毎朝トマトジュースを飲むようにはしています。濃いめがいいですね。



Tada Kensuke 多田 憲介 アナリスト

外出せずに楽な生活ばかり続けるのではなく、筋トレ、サウナ、食事の改善、早起きなど、敢えて自分を「追い込む」ことでハングリーで健全な精神を保つようにしています。また、最近では週1-2は出社し社内でのコミュニケーションを楽しんでいます。



Miyake Kazuhiro 三宅 一弘 運用本部 経済調査室長

身体的にはコロナ太りを反省し、秋口以降、できるだけ散歩するようにしています。また、私にとってはなかなか難しい課題ですが、酒量を抑制しています。コロナ禍で生活様式が変わったことで心のケアが重要と感じます。心や精神面での健康・若さを維持したいですね。友人や知人などと連絡をとりあっています。



Hashimoto Yuichi 橋本 裕一 マーケットエコノミ スト

YouTubeを参考にストレッチや筋トレをします。僕はこれと夕食をサラダにして数か月継続するとシャープになります。自分の身体を知り、成功体験があると増量も恐くないです。久しぶりのスーツがきついので、そろそろ再開します。

ひふみ投信の特色

「ひふみ投信」は、マザーファンドを通じて信託財産の長期的な成長を図るため、次の仕組みで運用します。

- ① 国内外の上場株式を主要な投資対象とし、市場価値が割安と考えられる銘柄を選別して長期的に投資します。
- ② 株式の組入比率は変化します。
- ③ 運用はファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて行ないます。

_____ ひふみワールドの特色(ご参考)

「ひふみワールド」は、マザーファンドを通じて信託財産の長期的な成長を図るため、次の仕組みで運用します。

- ① 日本を除く世界各国の株式等を主要な投資対象とし、成長性が高いと判断される銘柄を中心に選別して投資します。
- ②株式の組入比率は変化します。
- ③ 株式の組入資産については、原則として為替ヘッジを行ないません。
- ④ 運用はファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて行ないます。

投資リスク

- 基準価額の変動要因
- マザーファンドを通じて株式など値動きのある証券(外国の証券には為替リスクもあります。)に投資いたしますので、基準価額は、大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。これらの運用により生じる利益および損失は、すべてお客様(受益者)に帰属します。
- 投資信託は預貯金等とは異なります。
- 基準価額の変動要因となる主なリスク

株価変動リスク	国内外の株式を組み入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、経済・政治情勢などの影響を受け変動するため、株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割り込むことがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性のもとでの取引が行なえない、または取引が不可能となる場合が生じることを流動性リスクといいます。この流動性リスクの存在により、組入銘柄を期待する価格で売却できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
信用リスク	有価証券等の発行者や有価証券の貸付け等における取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想される場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となることを信用リスクといいます。投資した企業等にこのような重大な危機が生じた場合には、大きな損失が生じるリスクがあります。
為替変動リスク	外貨建資産については、当該通貨の円に対する為替変動の影響を受け、組入外貨建資産について、当該 通貨の為替レートが円高方向に変動した場合には、基準価額が下落する要因となり、損失が生じること があります。
カントリーリスク (エマージング市場 に関わるリスク)	当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、基準価額が大きく変動するリスクがあります。なお、エマージング市場(新興国市場)への投資においては、政治・経済的不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートの大きな変動、外国への送金規制等の状況によって有価証券の価格変動が大きくなる場合があります。

※投資リスク(基準価額の変動要因)は、上記に限定されるものではありません。

当資料のご留意点

- 当資料はレオス・キャピタルワークスが作成した販売用資料です。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料に記載されている当社が運用する投資信託の過去の運用結果等は、将来の結果等をお約束するものではありません。また、当該過去の運用結果等は、当該投資信託に投資をされた各投資家の利回りを表すものではありません。
- 当資料は作成日における信頼できる情報に基づき作成しておりますが、内容の正確性・完全性を保証するものではなく、また記載されている内容は予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり金利や相場等の変動により、<u>元本欠損が生じる可能性があります。</u>預金保険機構、貯金保険機構、および保険契約者保護機構の保護対象ではありませんが、証券会社を通じてご購入いただいた場合は投資者保護基金の保護対象となります。
- セミナー等で金融商品の説明等をすることや、お客様からのご依頼がある場合に金融商品に関連する追加の説明等をすることがあります。しかしながら、売買の推奨等を目的とした投資勧誘は行ないません。また、金融商品の案内、説明等はあくまで各お客様ご自身のご判断に資するための情報提供目的であり、金融商品の購入等を推奨するものでもありません。

お申込メモ

	ひふみ投信	ひふみワールド(ご参考)	
商品分類	追加型投信/內外/株式	追加型投信/海外/株式	
当初設定日	2008年10月1日	2019年10月8日	
信託期間	無期限		
決算日	毎年9月30日(休業日の場合、翌営業日)	毎年2月15日(休業日の場合、翌営業日)	
収益の分配	決算時に収益分配方針に基づいて分配を行ないまでれます。	す。 分配金再投資専用のため、分配金は自動的に再投資さ	
購入単位	1,000円以上1円単位の金額指定で受け付けます。		
購入価額	ご購入のお申込受付日の <u>翌営業日の基準価額</u> (1万口当り)		
購入代金	販売会社が定める日までに販売会社にお支払いください。		
換金(解約)単位	1口以上の口数指定または1円単位の金額指定で受け付けます。		
換金価額	解約の請求受付日の <u>翌営業日の基準価額</u> (1万口当	9)	
換金代金	請求受付日から起算して5営業日目から支払われま	す。	
購入・換金 申込受付不可日	_	ニューヨーク証券取引所または香港証券取引所のいずれ かの休業日と同じ日付の場合には、申込受付は行ないま せん。	
申込締切時間	購入・換金ともに、毎営業日の15時までに受け付けたものを当日のお申込みとします。		
課税関係	課税上は、株式投資信託として取り扱われます。配当控除の適用はありません。公募株式投資信託は税法上、 少額投資非課税制度の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。		

お客様にご負担いただく費用

◇直接ご負担いただく費用: ありません。

申込手数料・換金(解約)手数料・信託財産留保額 は一切ありません。なお、「スポット購入」に際しての送金手数料はお客様負担となります。

◇間接的にご負担いただく費用:次のとおりです。

	ひふみ投信	ひふみワールド(ご参考)
運用管理費用 (信託報酬)	信託財産の日々の純資産総額に対して <mark>年率1.078%</mark> (<mark>税込)</mark> を乗じて得た額	信託財産の日々の純資産総額に対して <mark>年率1.628%</mark> (税込) を乗じて得た額
	信託報酬とは、投資信託の運用・管理にかかる費用のことです。日々計算されて、投資信託の基準価額に反映されます。なお、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき信託財産から支払われます。	
監査費用	信託財産の純資産総額に対して年率0.0055%(税込)を乗じて得た額。(なお、上限を年間88万円(税込)とします。当該上限金額は契約条件の見直しにより変更となる場合があります。)	信託財産の純資産総額に対して年率0.0055%(税込)を乗じて得た額。(なお、上限を年間99万円(税込)とします。当該上限金額は契約条件の見直しにより変更となる場合があります。)
	日々計算されて、毎計算期末または信託終了のときに信託財産から支払われます。	
その他費用・ 手数料	組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料 (それにかかる消費税)、先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立て替えた立替金の利息など。これらの費用は、運用状況等により変動するものであり、予めその金額や上限額、計算方法等を具体的に記載することはできません。	

※手数料等の合計金額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

ファンドの関係法人

委託会社:レオス・キャピタルワークス株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1151号

加入協会 一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

受託会社: (ひふみ投信) 三井住友信託銀行株式会社

(ひふみワールド) 三菱UFJ信託銀行株式会社 販売会社:レオス・キャピタルワークス株式会社

各ファンドについてのお問い合わせ先



レオス・キャピタルワークス株式会社

コミュニケーション・センター

電話:03-6266-0123 メール:cc@rheos.jp

受付時間: (2020年4月6日より) 営業日の10時~16時

ウェブサイト: https://www.rheos.jp/

